

# (1) 令和4(2022)年度の実績【公共建築物】

- 木造・木質化を実施した公共建築物は20施設、木材使用量638.0m<sup>3</sup>
- うち県有施設は4施設（木造3施設、木質化1施設）、木材使用量134.5m<sup>3</sup>（前年度比で施設数、木材使用量ともに約40%）
- 炭素貯蔵量は386.7t-CO<sub>2</sub>（推計値）

表-1 公共建築物の木造・木質化の実績

施設数：件  
木材使用量：m<sup>3</sup>

区分	数量等	教育施設			福祉・医療施設			農業・林業等 産業施設			公園・観光施設			庁舎・警察・ 居住施設			その他			計		
		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量		施設数	木材使用量	
			総量	うち県産材		総量	うち県産材		総量	うち県産材		総量	うち県産材		総量	うち県産材		総量	うち県産材			
木造	総数	1	35.8	27.4	8	278.2	187.4	1	108.3	108.3	1	16.3	16.3	1	16.4	8.3	0	0.0	0.0	12	455.0	347.6
	うち 県有施設	1	35.8	27.4	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	16.3	16.3	1	16.4	8.3	0	0.0	0.0	3	68.5	51.9
木質化	総数	6	70.7	4.7	1	46.2	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	66.1	30.8	0	0.0	0.0	8	183.0	35.5
	うち 県有施設	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	66.1	30.8	0	0.0	0.0	1	66.1	30.8
合計	総数	7	106.5	32.1	9	324.4	187.4	1	108.3	108.3	1	16.3	16.3	2	82.4	39.1	0	0.0	0.0	20	638.0	383.1
	うち 県有施設	1	35.8	27.4	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	1	16.3	16.3	2	82.4	39.1	0	0.0	0.0	4	134.5	82.8

# (1) 令和4(2022)年度の実績【公共建築物】

表-2 木造・木質化を実施した県有施設一覧

No.	施設名称	階数	面積 (㎡)	木造・ 木質化別	木材使用量 (㎡)	備考
1	宇都宮中央高校運動部室	2	182.2	木造	35.8	
2	那須野が原公園 クアールーム	1	99.4	木造	16.3	
3	那須庁舎	5	7434.5	木質	66.1	RC
4	下野警察署小金井駅前交番	2	75.0	木造	16.4	
計	4施設 (木造 (3)、木質化 (1))				134.5	

# (1) 令和4(2022)年度の実績【公共建築物】



図-2 宇都宮中央高校運動部室（宇都宮市）【木造】



図-3 那須野が原公園クアールーム（那須塩原市）【木造】



図-4 那須庁舎（エントランス）（大田原市）【木質化】



図-5 小金井駅前交番（下野市）【木造】

# (1) 令和4(2022)年度の実績【公共建築物】

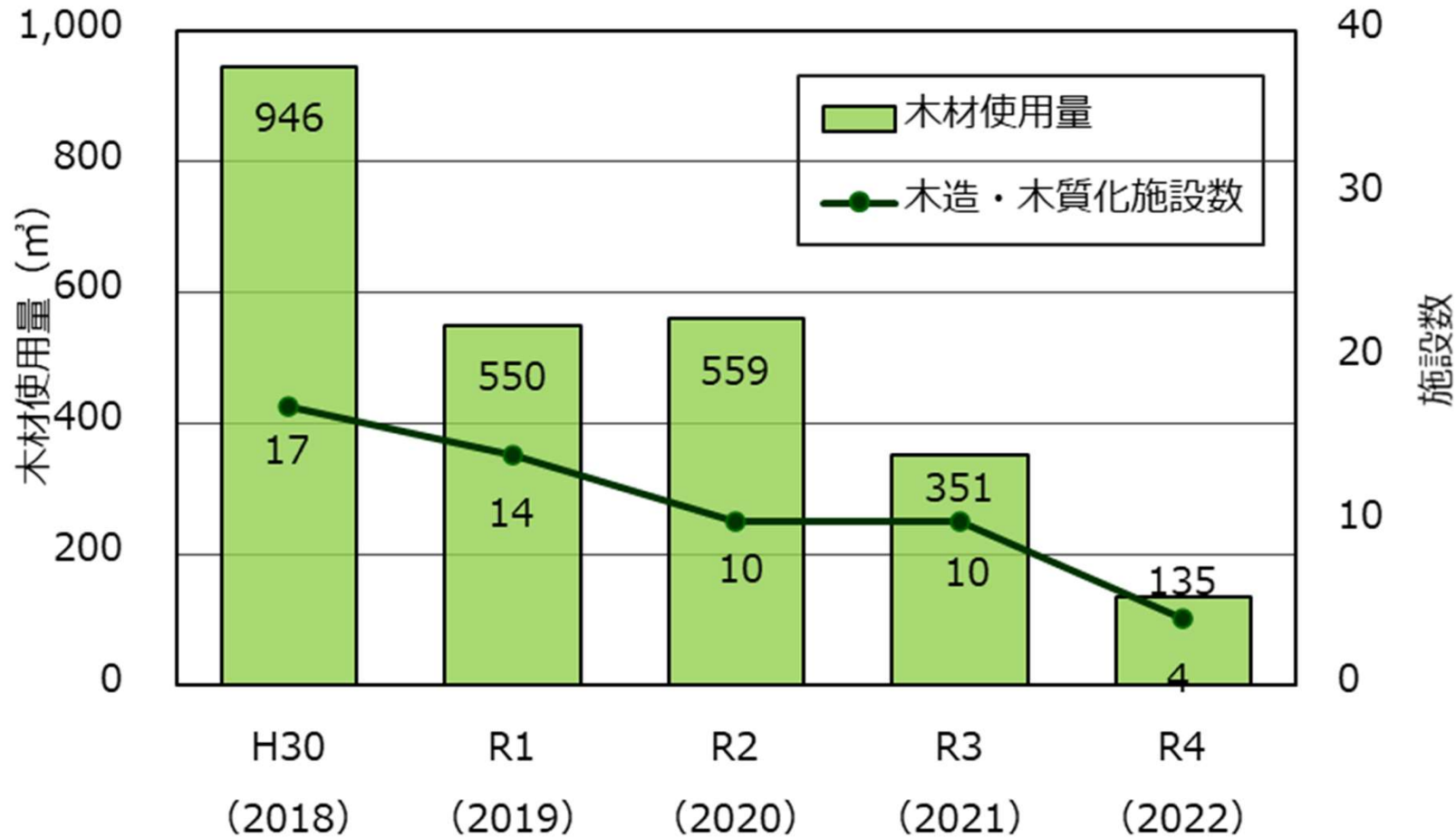


図-6 公共建築物のうち県有施設の木造・木質化の推移



## (2) 令和4(2022)年度の実績【公共土木施設】

- 木材利用を実施した公共土木施設等における木材使用量は1,276.8m<sup>3</sup>
- うち県有施設の木材使用量は1,248.4m<sup>3</sup>（前年度比約120%）
- 炭素貯蔵量は773.9t-CO<sub>2</sub>（推計値）

表-3 公共土木施設等における木材利用の実績

単位：m<sup>3</sup>

区 分	農業土木施設		道路施設 (林道含む)		自然公園施設		都市公園施設		観光施設		河川施設		砂防施設		治山施設		その他		計	
	総量	うち 県産材	総量	うち 県産材	総量	うち 県産材	総量	うち 県産材	総量	うち 県産材	総量	うち 県産材	総量	うち 県産材	総量	うち 県産材	総量	うち 県産材	総量	うち 県産材
木材使用量	0.0	0.0	53.1	53.1	119.6	119.6	28.9	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1075.2	1075.2	0.0	0.0	1276.8	1255.2
うち県有施設	0.0	0.0	29.3	29.3	115.0	115.0	28.9	7.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1075.2	1075.2	0.0	0.0	1248.4	1226.8

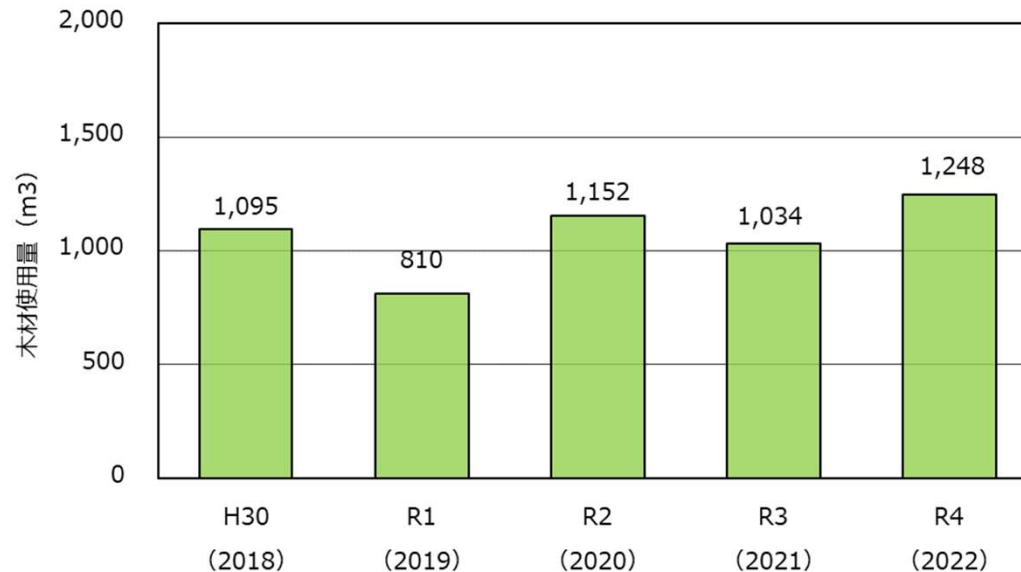


図-7 公共土木施設等のうち県有施設の木材使用量の推移

## (2) 令和4(2022)年度の実績【公共土木施設】



図-8 那須野が原公園 アスレチック (那須塩原市)



図-9 沼原園地 木道・標識 (那須塩原市)



図-10 残置式間伐材型樁 三本松 (日光市)



図-11 丸太伏工 林道塩の草須佐木線 (大田原市)



### (3) 令和4(2022)年度の実績【庁用物品等】

- 県民の目に触れる機会の多いパンフレットラックや記者会見バックパネル等の広報関係備品のほか、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会会場の仮設構造物やノベルティグッズ等に木材を積極的に活用し、木材利用の普及啓発を実施

表-4 庁用物品等における木材利用の実績

物品名	数量	単位	備考
木製ベンチ	20	基	那須庁舎ほか
木製パンフレットラック	6	台	那須庁舎
木製バックパネル	1	基	(とちぎの元気な森づくり県民会議)
ニュートラくん木製バッジ	500	個	
間伐材しおり	500	枚	
ひのきのたまご	250	個	
栃木県誕生150年記念木製マグネット	390	個	
開・閉会式会場 ロイヤルボックス	1	基	いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会用
開・閉会式会場 装飾フェンス	1	基	〃
開・閉会式会場 歓迎ゲート	2	基	〃
開・閉会式会場 おもてなし広場アーチ	1	基	〃
特別協賛企業への感謝状(盾)	1	個	〃
参加章等	53,940	個	〃
記念品	100	個	〃

### (3) 令和4(2022)年度の実績【庁用物品等】



図-12 ベンチ、パンフレットラック (那須庁舎)



図-13 木製バックパネル

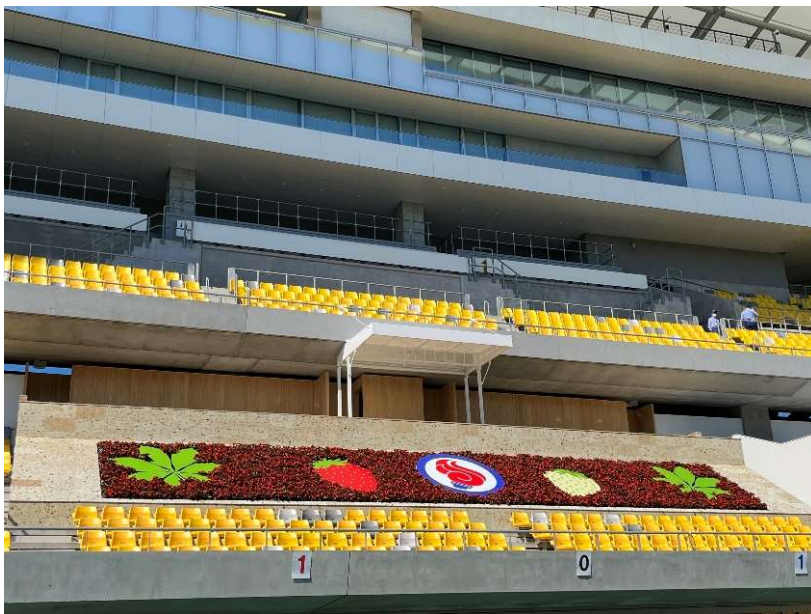


図-14 国体会場ロイヤルボックス



図-15 国体会場歓迎ゲート



## (4) 令和4(2022)年度の実績【合計】

- 県有施設の木材使用量の合計は1,382.9m<sup>3</sup>（前年度比約100%）
- 炭素貯蔵量は838.2t-CO<sub>2</sub>（推計値）  
→約100人が1年間に排出するCO<sub>2</sub>の量に相当※

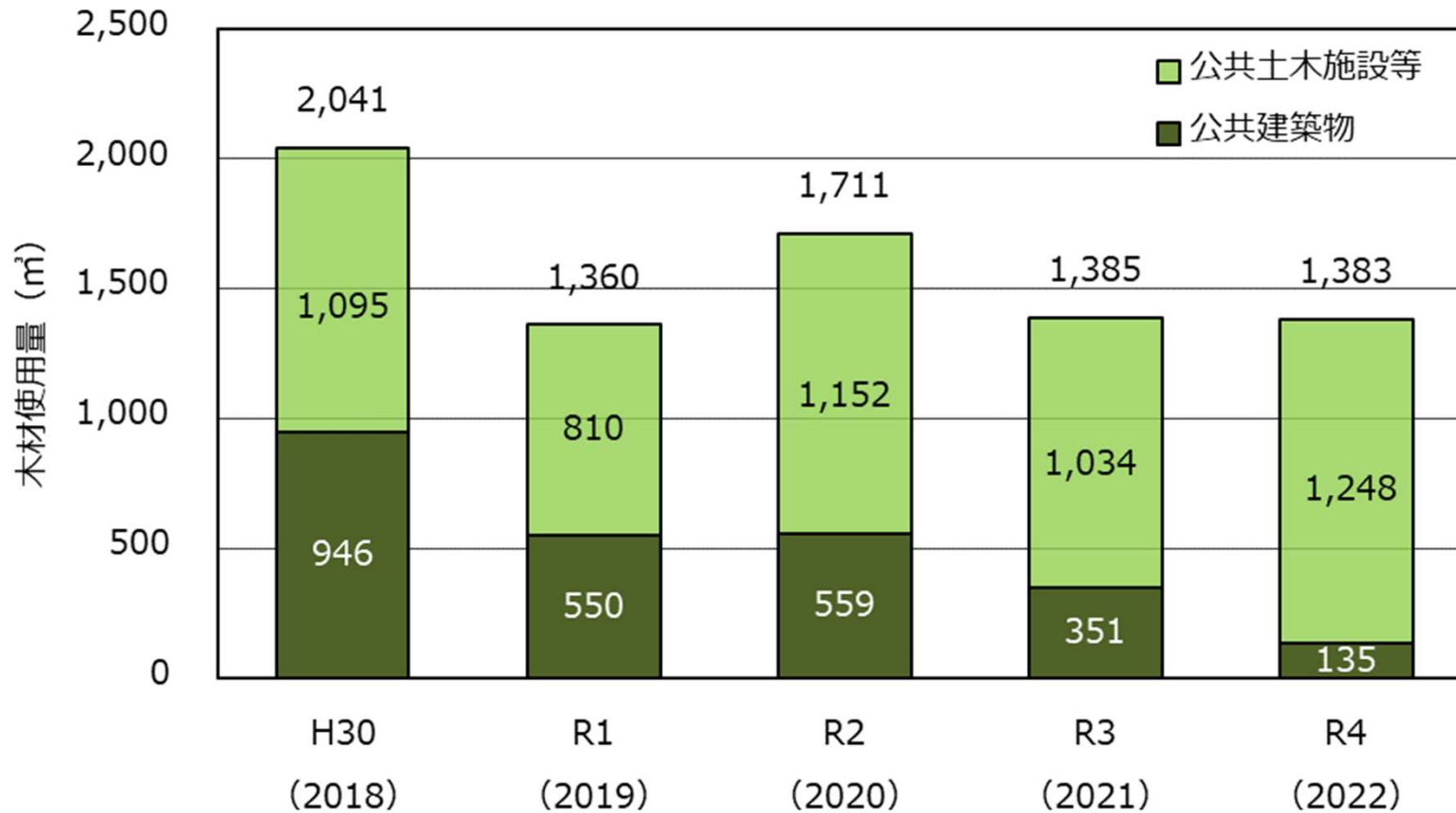


図-16 県有施設における木材使用量の推移

※ R3(2021)年度の1人当たりCO<sub>2</sub>排出量は8.46 t-CO<sub>2</sub>  
(2023年日本国温室効果ガスインベントリ報告書より)